

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年4月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで60年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2023年5月31日開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年4月度ギャラクシー賞月間賞

特集ドラマ「幸運なひと」

4月4、11日放送 22:00~22:45 日本放送協会

夫がある日突然末期がんを宣告された若い夫婦の戸惑い・苦しさ・本音を、美談に寄せることなくストレートかつ繊細に描いた。夫婦間の会話や医師とのやりとりにそれぞれの揺れる感情がリアルに表出し、身につまされるが、辛い現実でも見終わって爽やかな明るさが残るドラマだった。

E T V特集「誰のための司法か～團藤重光 最高裁・事件ノート～」

4月15日放送 23:00~24:00 日本放送協会

この番組が明らかにしたのは、司法の世界、それも最高裁の審議や判決にも政治権力の介入があるという、本来あってはならない事態が起きていたという事実だ。元最高裁の團藤重光裁判官が残したノートに、司法の自立を否定する如き経緯が克明に、しかも怒りを込めて記されていた。驚くべき事実であり渾身の取材による優れたスクープだ。

連続ドラマW「フェンス」

3月19日～4月16日放送 22:00~23:00 WOWOW NHKエンタープライズ

沖縄が置かれた状況を政治的問題だけでなく、沖縄の人々のアイデンティティの問題にまで踏み込んで脚本化した野木亜紀子の力量が光る。人種や性別などさまざまな「壁」にぶつかりながらも前を向く2人の主人公を松岡茉優と宮本エリアナがそれぞれ魅力的に演じていて惹きつけられた。Awichの歌声なども併せ、記憶に残る作品となった。

誰でも考えたくなる「正解の無いクイズ」

4月3日～ 毎週月、火、水 17:30~17:45 テレビ東京

「親友がくれた食べ物を一緒に完食し、直後にこう言われました。『今の盗んできたやつ』あなたならどうする？」など独自の対応力や思考力を問う新種のクイズ番組。正解のない問いに各界の頭脳が解答。その人選が個性派ぞろいで尖っている。MCはラッパー呂布カルマ、相席スタート山添寛、Aマッソ加納の新鮮な組み合わせで企画にマッチ。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年7月号に掲載します